

愛知山岳

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2023年3月16日発行

No. 598号 (第55期 1号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

第 55 期総会 報告 (概要)



3月5日(日)刈谷市産業振興センター 401号室にて第55期県連定期総会を開催しました。

総会役員は、議長：スルジェ山の会・岩田、春日井峠の会・落合

書記：春日井峠の会・河村理事、同志会・樋口理事

資格審査委員：みどり山の会・山本理事、東海山岳会・倉田、半田F・小栗

選挙管理委員：ありんこ山岳会・岡部、ASC・神谷、同志会・小澤

司会：ありんこ山岳会・榊原理事 受付：佐伯理事

出席者は開会時、28名、委任状：9名、計、37名でした。午後の再開時、議案の採決時、役員投票開始時の都度出席者数をチェックし総会の成立状況を確認しました。(次頁につづく)

《目次》

	第55期総会 報告 (概要)	1
遭対部	積雪期救助訓練	2
教育部	雪山安全講習会 実施報告 千畳敷にて	2
組織部	一般向け登山講座の紹介	4
〃	第55期 第1回 組織担当者会議	5
〃	尉ヶ峰 組織部交流山行 報告	6
女性部	女性部だより	7
	全国連盟第35回第1回評議会が開かれました	7
	年間カレンダー	9

(表紙からのつづき)

総会は松本副会長の開会宣言に始まり、廣田会長の挨拶に始まりました。また、全国連盟ハイキング委員会・田上委員長を来賓に迎え挨拶をいただきました。午前中に第1号議案「総括と方針」、第2号議案「第54期一般会計収支決算(案)・特別会計等決算書(案)、他」、第3号議案「第55期一般会計予算(案)・特別会計等予算案、他」、第4号議案連盟規約一部改定(案)」の報告・提案を行い、質疑の後、賛成多数で採択されました。

採決は、第1号議案は、保留1、反対0、賛成29、第2号議案は保留1反対0、賛成29、第4号議案は保留0、反対0、賛成30、でした。第5号議案、役員選挙の総会成立状況は出席代議員30名委任状9名、計39名でした。

選挙の結果、投票総数30、新任は30～27で全員信任されました。

閉会の挨拶では、残念なことに3月末でアリス山の会が脱会されることが、理事長より報告されました。

総会役員の皆様、総会の進行や総会運営を支えてくださり、お疲れさまでした。

遭対部 積雪期救助訓練

1月29日 御在所岳裏道四の渡し付近で積雪期救助訓練を行いました。

参加人数は10名で、登山道から8人パーティの1名が5メートル滑落。1名が救助に向かい怪我人を背負う。上部で引上げシステムを構築し登山道まで引き上げ、ヘリコプター搬出が出来るところまで人が人を搬送するという設定で行いました。支点、引上げシステム、搬送の説明を行い参加者からは、怪我人を背負って歩く大変さ、難しいなどの意見がありました。

じねんじょ山の会 岩田宗則

教育部 雪山安全講習会 実施報告 千畳敷にて

2023年2月5日(日)、中央アルプスの千畳敷にて雪山安全講習会の実技が実施された。昨年の11月から始まった雪山安全講習会。実技は12月は雪不足で中止。1月はロープウェイの運休で延期。やっと2月に実施できた。昨年も新型コロナの影響により中止になってしまったので念願かなっての講習となった。



メンバーは講師を含め7名（ありんこ、かわせみ、犬山マップ）。快晴の千畳敷で残雪期のよ
うな陽気で講習をするには絶好な条件だった。

まず、ロープウェイ乗り場から千畳敷へ出ると青と白のコントラストに息を呑む。天気は最高！
支度を整え、まずはツボ足で極楽平方面のサギダル尾根の第1岩稜の横辺りの斜面まで登り上げる。
新雪で膝辺りまで埋まる。講師に足の置き方、体重のかけ方などを教えてもらい意識しながら
先頭を交代して登って行った。

練習場所に到着して、まず初めは休憩場所の設営。テント設営をイメージして作る。私的には
こんな急斜面に休憩地？と思ってしまった。斜面をスコップで切り、それを足で均しながら谷側
に広げていく。これが私としてはなかなか大変で汗が噴き出る。必死になってやっと2人用テン
トが張れるくらいの大きさになった。最高の展望台のような休憩地が出来上がった。

次に斜面上部の掘り口で指で雪の層の確認とシャベルコンプレッションテストをした。雪の層
を指で突いて雪の固さを確認した。雪が降ったばかりだったので上部はふわふわの感触だったが、
中間辺りで氷の面となり、と思ったらまた柔らかくなる。私の乏しい知識では固い面の下はみんな
固いと思っていたのでとても興味深かった。シャベルコンプレッションテストでは見事に四角
柱にひびが入って、机上では良くわからなかったが一目瞭然で意味がよく理解できた。

そして雪上歩行。サギダル尾根の第1岩稜方面へトラバースしながら歩き、ピッケルの使い方
や足の運び方を練習。そして岩稜帯で岩と雪のミックスでの歩き方も練習した。岩稜帯では高度
感があり緊張しながら慎重に足を運んで行った。その後は、トラバースしながら休憩地へ戻った。

午後は滑落停止技術の練習。斜面に滑り台を2か所作って、何度も練習。頭の中のイメージと
身体が合致せず苦勞した。何度も滑るので雪面が固くなり結構加速して滑落した時のイメージが
つかめた。これは滑落しないで歩くのが一番の最善方法だと感じた。何度も練習したおかげで翌
日は筋肉痛に泣くこととなった。

雪上での確保では、スタンディングアックスピレーを学ぶ。雪での確保だがこれは今回だけで
は覚えきれず、繰り返しが大事だと思った。ゾンデ棒は経験がなく初めて使ってみた。雪の深さを
確認したり、埋没者の捜索では人と雪の感触の違いを体感した。使い方を知らないのは持ってい
ないと同じと言われ、道具はなんでも使い方を知ってこそその道具だと再確認した。決してお守り
にはならないのだ。



そして、盛りだくさんのカリキュラムは終了した。下山のころには風も少し出てきて寒くなっ
てきたのでちょうどよいタイミングだった。

今回の実技は、天候にも恵まれ沢山のことを学ばせていただき有意義で楽しい一日となりまし
た。雪山に関しては何時までたっても初心者ですがこのような講習に参加して知識を身に着け、
実際の山行で実践していけたらいいと感じました。他の会の方との交流も楽しかったし刺激も受

けました。機会があったら、また講習会に参加したいです。これまでいろいろ準備をしてくださった県連教育部の皆様、そして、一緒に講習を受けたかわせみの皆さん、ありがとうございました。今後の山行に生かしていきたいと思ひます。

組織部 犬山労山マップ「連続市民登山教室」の紹介

各会の一般向け登山講座を紹介しします。犬山マップ、じねんじょ山の会、東三河山ぼ会、半田ファミリー山の会などでは、以前より会独自で一般の登山者向けの講座を実施してきています。今年度の実施状況を順次、紹介していきまひす。今回は犬山マップです！



私たちは「犬山労山マップ」といい、全国労山と愛知県連と繋がっている山岳会です

講座内容	日程	内容
①机上A	4/ 5(水)	自然のなかを歩く楽しさ・服装は? 装備は?
②実践A	4/16(日)	納古山 360°大展望 ツツジ三姉妹
③机上B	4/26(水)	山の歩き方・地図の見方・コンパスの使い方
④実践B	5/14(日)	傘山 中央・南アルプスのスーパー大パノラマ
⑤机上ABC	5/28(日)	集中講座
⑥机上C	5/31(水)	事故防止、アクシデントが起こったら
⑦実技	6/3(土)	ステップUP講座(簡易ハーネスの作り方と使用法等)
⑧実践C	6/11(日)	位山 日本200名山 北アルプス全山・白山展望
⑨実践予備日	6/18(日)	中止になった山

◎机上学習

場所：羽黒地区学習等教養施設

時間：①③⑥19：00～21：00 ⑤9：30～15：00

◎費用

1講座 500円 ※テキスト代400円 実践は実費

○申込み：3月5日(日)～

○問合せ・申込先

2023年度犬山勤労者山の会マップ公開系実行委員会事務局 久松

inuyamamap2023@gmail.com

QRコードからもメールが送れます⇒



第55期 第1回組織担当者会議

2023年3月9日(木)

県連事務所：午後7時～9時20分

出席者：あつた（森田・△松岡）、若駒(中橋)、春日井（落合）、同志会（吉川）、
じねんじょ(△後藤)、△：web参加

1) 組織数の推移・入退会理由——集計中

2) 県連第55期総会報告

年間日程表配布。交流山行は第1回10月28日(土) 第2回1月14日(日)を予定する。

3) 第55期一般向け登山講座

- ① 応募状況——現在10名、問合せ1件。
- ② 準備状況
準備実施要領、ロジ表の作成、——分担を打合せした。
実技山行実施要領を作成する。
- ③ 実技山行、「危険個所の通過」の実施方法、場所——27日(月)下見、宇連山実施済。
宇連山は距離的にも訓練場所としても適当な場所ではないので、猿投山、御在所岳などで下見を行い、検討する。
危険箇所通過用器材——の件は専用の器材を購入して、準備する。
- ④ 竹内教授の講演——テーマ設定、質問等を依頼・送付する
*藤原岳・伊吹山などの石灰岩は何故内陸にありますか。
- ⑤ スタッフやCL等の打合せを3月25日初回に予定(案)。打合せ内容の要領を作成する。
- ⑥ 一般公開について ——Zoomについては行わない。

4) 労山運動の理念——“理念”という言葉は使用しない。

“理念”は一般的には、「経営理念」など、物ごとの基本的な考え方、などを示す。
登山学校テキストでは「「理念」には理論的なよりどころ、イデーなどという意味がある。」と説明されているが、この「イデー」は哲学用語で、(Idee)=イデア。調べると観念論にはまり込むこともあり、あまり確定しないところもある。——観念論的な不確定な用語は使用しない。深淵な議論にはまる。

学習は独習を進める。——自ら学ぶ姿勢を培う。

題 材——趣意書、5月担当者会議まで宿題、レポート・感想文を提出する。

教材選定は時間切れ、次回。

5) 実務の分担——①組織数、入退会理由の集計

②各会役員名簿のとりまとめ —— 各、担当者を設定しました。

6) 担当者会議の日程 ②4月12日(木) ③6月1日(木) ④7月13日(木) ⑤8月10日(木)
⑥9月7日(木) ⑦10月12日(木) ⑧11月9日(木) ⑨12月7日(木)
⑩1月18日(木) ⑪2月15日(木)

尉ヶ峰(じょうがみね) 組織部交流山行 報告

2月5日(日)浜名湖北の尉ヶ峰にて、各会の組織部間などの交流、一般参加者や第55期受講予定者などの交流を兼ねて、組織部交流山行を実施しました。参加者はみどり山の会7名、あつた労山5名(一般参加3名を含む)、山の会くらら3名、同志会4名(一般参加1名含む)、春日井峠の会2名、第55期受講予定者2名、若駒山岳会1名、計24名でした。

登山コースは天竜浜名湖鉄道西気賀駅より山裾の道を登り県道を渡って山道に入り、浜見岩、下山コースとの三叉路、獅子落とし岩、尉ヶ峰に登り、下山は三叉路より支尾根上の道を下り引佐峠より姫街道の往時を偲んで石畳の道を歩き、ミカン畑の間を歩いて、西気賀駅に戻りました。浜見岩や山頂からは浜名湖の眺望も楽しむこともできました。

途中、少しの岩場もありその歩き方や下山時の歩き方の注意などを受講生などに教えたり、一般講座実技の練習にもなりました。また、各会や一般参加者とのパーティ編成は、その対応の勉強にもなりました。各会の参加者は途中の休憩や山頂での歓談で交流を深めることができました。

第55期の一般向け登山講座へもつながる交流山行として、天候にも恵まれ、無事終了して車中の人となりそれぞれ帰路に就きました。

下見に出かけるなど準備されたあつた労山の森田さん、ありがとうございました。

(記：吉川)

交流山行 参加者感想

今回は晴天に恵まれ、風もなく、春の訪れを間近に感じる暖かい日差しの中、たくさんの人達と和やかな気持ちで山行を楽しむことができました。道のりも概ねなだらかで、終盤「獅子落とし」と呼ばれる急登を気をつけて登れば、眼下には浜名湖を一望できる広い頂上に辿りつくことができました。

折り返しには姫街道と呼ばれる苔むした石畳に歴史を感じつつ、みかんを始め、様々な柑橘類の木を目にしなが、楽しく帰りの駅まで歩くことができました。(同志会、会員)



2月5日皆さんと一緒に尉ヶ峰に行ってきました。

2月というのに大変暖かでぐるっと一回りするコースもバラエティに富んでいてとても楽しく(低いくせに岩場まである)電車も可愛いし、同志会として参加させていただくには20年以上の空白がありましたが、同

志会の旧友の嬉しいお誘いについつい乗っかり交流会の方々とも気持ちの良い時を送ることができました。

電車の中では、同志会の旧友の方々とお話ができ懐かしい面々の最近の話を聞け、最近入会された同志会の方からは同志会の大盛況ぶりを伺い、第 55 期受講生さんからは明るい希望が聞け、素敵な一日でした。

下山途中、山行に地形図を正文堂書店に買いに行かなくても良くなってアプリで間に合うことを人が話しているのを聞き、えっと驚いてコケそうになりました。

やっぱり山登りって最高ですね。（同志会、元会員）

女性部 女性部だより

女性部からのお知らせです。

54 期は 3 回の活動を開催することができました。延べ参加人員は 113 名となり会員の皆様にはご支援、ご協力を頂き感謝いたします。

55 期の活動ですが、残念なお知らせをしなければなりません。県連規定では各部会の部長は理事の中より選出とあります。残念ながら 55 期の理事選出では女性の立候補がありませんでした。それを受けて女性部としての活動を一端休止と致します。

今後の活動につきましては、理事会に一端預け検討課題として協議いただきます。結果ができましたら、またお知らせできると思っております。

これまで女性部会に担当者を出していただきました会、活動を理解して応援いただきました会の皆様に深く感謝をいたしております。ありがとうございました。

全国連盟第 35 期第 1 回評議会が開かれました

2 月 18 日(土)～19 日(日)東京都府中市で開催された第 35 期第 1 回全国評議会に、吉川事務局長(全国理事)と佐藤理事長で参加してきました。

「平和と自然がとても大切、今こそ山へ」のスローガンで行われました。

議案は、(第 1 号議案) 第 35 期上期活動総括と第 35 期下期の活動方針、(第 2 号議案) 第 35 期上期の財政活動総括と第 35 期下期の財政方針、予算案の策定(第 3 号議案)、補充する理事でした。また、今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりでした。

- (1) コロナ後の登山界での、組織の強化と拡大を目指す活動について
- (2) 遭難事故を減らす安全登山教育の充実について
- (3) 大規模開発から山岳自然を守る活動について
- (4) 平和な社会で、登山文化を発展させる取り組みについて

初めに、浦添会長から、この 1 年を振り返り、戦争と平和の問題でロシアのウクライナ侵攻、地球規模の温暖化は、戦争こそが、膨大な二酸化炭素の排出を行い温暖化の一因になっていること、コロナ後の活動などを話されました。

そのあと、川島理事長より、1,2,3 号議案と、この評議会の目的、主要な課題についての報告がありました。主な内容は、1 号議案では組織拡大について、2022 年 11 月末の組織調査では 562 団

体 16814 名となっていて各地方連盟が創意工夫して努力した結果減少数が減ってきているが、新たに 1 地方連盟（秋田）が空白になった。

遭対関係では、労山内でも事故はコロナ禍の中でも増加した。中でも下山時や下り坂での転倒による事故などが増加していて対策、検討が必要。自然保護では、コロナ禍の中でも清掃登山が、1 都 1 道 2 府 19 県で取り組まれた事や、自然破壊、環境破壊につながる、巨大太陽光発電、大規模なウインドファーム事業に反対していくことなどが報告されました。

2 号議案では、全国の会員数が、16,814 名と前年度より 22 団体 292 名の減少し、2023 年度は、かろうじて黒字会計となるとの報告がありました。

その後各地方連盟からの質問、報告があり 1 日目は 18:00 に終了しました。2 日目は 9:00 から始まり、議案の質問を受けつけ採決、承認をして、続けて地方連盟の報告をして川島理事長の討論のまとめの報告で、12:00 に終了しました。



全体の感想としては、コロナ禍の中でも、この一年は登山が回復してきたが、それに比例して事故も増えてきている。特に下山時、下りで事故が増加している。そうした中で兵庫県連が 60 歳以上を対象に、登山の筋力、測定と講習を行い筋力アップにつながっていると報告があり参考になった。組織強化、拡大では、具体的な目標があってもいいのではないかと感じました。地球規模の温暖化問題、平和と登山の問題が身近に感じられました。

【編集後記】 コロナの感染者数もずいぶん減って、久しぶりにスッキリした気持ちでの新年度。そして久しぶりに何か新しいことに挑戦してみたいような気持ちになれる春です。 （事務局 井土）

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com

第55期 年間計画

2023年3月～2024年2月

水曜日は東海山岳会の使用を優先。

2023年3月		4月		5月		6月		7月		8月	
1	水	1	土	1	月	1	木	1	土	1	火
2	木	2	日	2	火	2	金	2	日	2	水
3	金	3	月	3	水	3	土	3	月	3	木
4	土	4	火	4	木	4	日	4	火	4	金
5	日	5	水	5	金	5	月	5	水	5	土
6	月	6	木	6	土	6	火	6	木	6	日
7	火	7	金	7	日	7	水	7	金	7	月
8	水	8	土	8	月	8	木	8	土	8	火
9	木	9	日	9	火	9	金	9	日	9	水
10	金	10	月	10	水	10	土	10	月	10	木
11	土	11	火	11	木	11	日	11	火	11	金
12	日	12	水	12	金	12	月	12	水	12	土
13	月	13	木	13	土	13	火	13	木	13	日
14	火	14	金	14	日	14	水	14	金	14	月
15	水	15	土	15	月	15	木	15	土	15	火
16	木	16	日	16	火	16	金	16	日	16	水
17	金	17	月	17	水	17	土	17	月	17	木
18	土	18	火	18	木	18	日	18	火	18	金
19	日	19	水	19	金	19	月	19	水	19	土
20	月	20	木	20	土	20	火	20	木	20	日
21	火	21	金	21	日	21	水	21	金	21	月
22	水	22	土	22	月	22	木	22	土	22	火
23	木	23	日	23	火	23	金	23	日	23	水
24	金	24	月	24	水	24	土	24	月	24	木
25	土	25	火	25	木	25	日	25	火	25	金
26	日	26	水	26	金	26	月	26	水	26	土
27	月	27	木	27	土	27	火	27	木	27	日
28	火	28	金	28	日	28	水	28	金	28	月
29	水	29	土	29	月	29	木	29	土	29	火
30	木	30	日	30	火	30	金	30	日	30	水
31	金			31	水			31	月	31	木

第55期 年間計画

2023年3月～2024年2月

水曜日は東海山岳会の使用を優先。

9月		10月		11月		12月		2024年1月		2月	
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土	6	火
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	8	木
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火	16	金
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	19	月
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	20	火
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	23	金
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	27	火
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	29	木
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	日
		31	火			31	日	31	水	31	日